

放置自転車 条例制定の考えは

馬渕 紀明議員

制定に向け取り組んでいきたい

企画政策部長



▲JR 永和駅周辺の放置自転車の状況

問 本市は現在、条例はない。利用者のマナーの向上、放置自転車の減少、歩行者、駅利用者への通行の安全の円滑な確保を考えると、本市も条例

問 全国の中でも条例が制定されているが、近隣自治体の状況は。

答 稲沢市、あま市、弥富市及び蟹江町が制定している。

● 道の駅 HASUパークの管理運営は
● eスポーツの推進を

その他の質問

問 放置自転車の推移
と今までの放置自転車

対策の取り組みは。

答 令和3年度まで市内8駅に放置自転車はなかった。4年度から永和駅で放置自転車が目立つようになり、4年度86台、5年度119台、6年度174台、7年度143台となっている。また、永和駅以外で放置

自転車が目立つ駅はない。

取り組みとしては、永和駅では、市が管理する駐輪場から駅舎までの

問 市の対策だけではなく、JR東海と連携した対策が必要ではないか。

答 7年10月30日に東海旅客鉄道株式会社と協議を行い、同社より、

通路沿いのフェンスに、カラーコーンや駐輪禁止の看板を設置するなど、

答 7年10月30日に東海旅客鉄道株式会社と協議を行い、同社より、

通路沿いのフェンスに、カラーコーンや駐輪禁止の看板を設置するなど、

を策定してもよいかと
思うが、市の考えは。

答 駅利用者の安全確保や利便性の向上、駅周辺の景観を維持するため、放置自転車対策に係る協議を行い、同社より、改札口周辺の放置自転車の減少に向け、市と協働で対策を講じていきたと回答をもらつた。

本市としても連携した取り組みを実施することで、効果のある放置自転車対策を進めていくたいと考えている。

答 駅利用者の安全確保や利便性の向上、駅周辺の景観を維持するため、放置自転車対策に係る協議を行い、同社より、改札口周辺の放置自転車の減少に向け、市と協働で対策を講じていきたと回答をもらつた。